

1. 『子宮頸がん検診普及キャンペーンロックバンドとのコラボレーション』

日時：2012年3月20日(火) 13:00~15:00



答え

正解は……**A** 産むことが出来る

早期発見できると、子宮の一部を治療するだけなので子どもを産むことができます。



引用文献

- <http://sciennotes.wordpress.com/2008/09/24/hpv-innoculation-protects-against-three-cancers/>
- <http://e-pocket.com/illust/>
- <http://www16.ocn.ne.jp/~yunonta/pirorikin.html>
- <http://www.shizen-ninshin.net/index.html>
- <http://www.town.fukushima.hokkaido.jp/div/fukushihp/ikuji.html>

最後に……

**ワクチンと検診で自分の
身体、そして大切な人を守
りましょう！！**



2. 『山陰H&Bフェスタでの啓発活動』

日時：2012年6月2日（土）、3（日） 9：30～16：00



防ごう！子宮頸がん

～いなたひめプロジェクト～



子宮頸がんって聞いたことある？

そう言えばACのCMで…


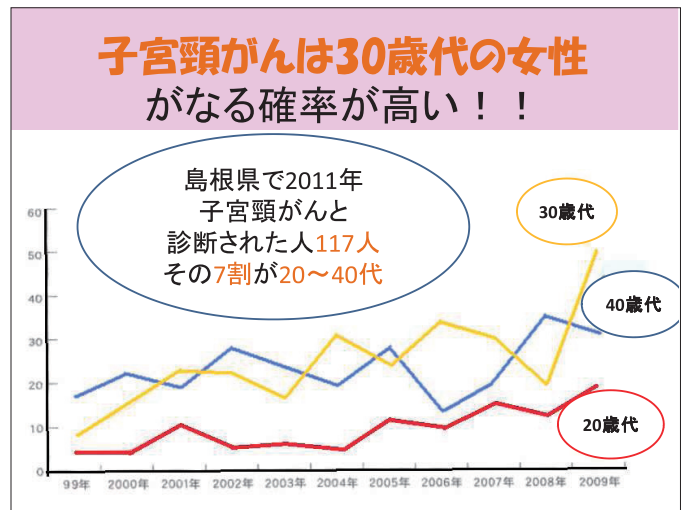
ネット広告で…

授業で聞いたかも…



どんな病気かわからない…

私たちにも関係があるんですよ

子宮頸がんってどんな病気??



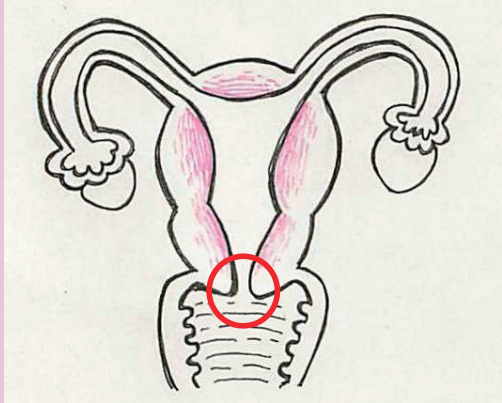
子宮頸がんって、どこにできるの??



2. 『山陰H&Bフェスタでの啓発活動』

日時：2012年6月2日（土）、3（日） 9：30～16：00

子宮の入り口にできます。



原因は??

ヒトパピローマウイルス
(HPV)



ヒトパピローマウイルス
(HPV)

って??

生活の中にどこでもいる
ウイルス!

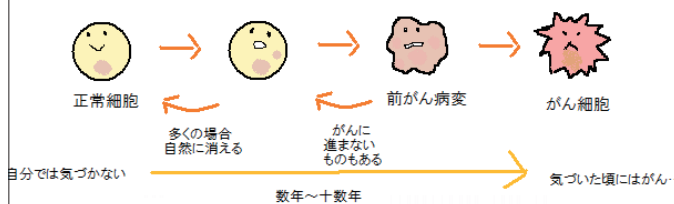
女性の約80%が50歳までに
感染を経験すると言われています。

ヒトパピローマウイルスに
感染したら、
必ず子宮頸がんにな
る??

いいえ!!



体はちゃんと
守ってくれる♪



悪化したら・・・大変!



じつは・・・子宮頸がん
の初期には症状が
ない!

2. 『山陰H&Bフェスタでの啓発活動』

日時：2012年6月2日（土）、3（日） 9：30～16：00

どうしよう!!!?

大丈夫!!


ちゃんと予防する
手段があるんです♪



♥**体と心に優しいことをする**
体に優しい事をして体の免疫力を
上げましょう♪

- 体へのご褒美に健康な食事をする
- 一日の中でほっとする時間を作る...etc


いつも心穏やかな女の
子でいたいな...



❀ **予防手段** ❀

♥ **子宮頸がんワクチン**

♥ **子宮頸がん検診**

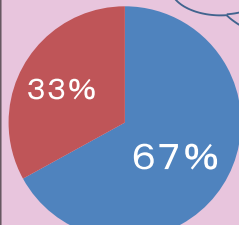


**効果的な
予防方法は？**




♥ **ワクチンを打つことで...**

約**70%** **予防**できる!!




■ HPV16型・18型	33%
■ その他のHPV	67%



中高生のみんなは、
自治体から**ワクチンの補助**が
あります。

各自で問い合わせ
確認しましょう♥



2. 『山陰H&Bフェスタでの啓発活動』

日時：2012年6月2日（土）、3（日） 9：30～16：00

♥検診について

- ・がん細胞になる前に発見することができる！
- ・子宮頸がんは初期症状がないため、がんを見つけるためには検診を受けるしかない！！



❀検診方法

- ・綿棒の先で子宮の入り口をこする程度
- ・約15分くらい
- ・料金は約1500円
今日は**500円**！！



自分の体を大切にすること
＝ステキ女子❀
ワクチンと検診を
きちんと受けて、

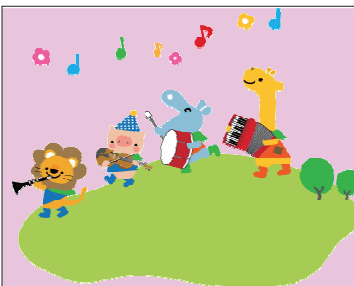
女子力UP↑↑

♥まとめ♥

- ❀子宮頸がんは…
予防できる唯一のがん
- ❀10歳以上から
子宮頸がんワクチン
- ❀20歳から
子宮頸がん検診



**あなたとあなたの
大切な人が笑顔で
いられますように**



ご清聴ありがとうございました❀

3. 『アジア・オセアニア性科学学会参加』

日時：2012年8月3日(金)、4(土)

Educational activities aimed at women-specific cancer prevention conducted by college students

Mayu Okamoto¹⁾, Kozue Koreeda²⁾, Akiko Yata²⁾
 Miho Arata²⁾, Akari Notsu²⁾, Chiharu Hironaka²⁾
 Yoko Kono¹⁾, Shizuko Koumi³⁾, Yukiko Koike²⁾
 Fumiko Hirano²⁾ and Yoshie Kono¹⁾

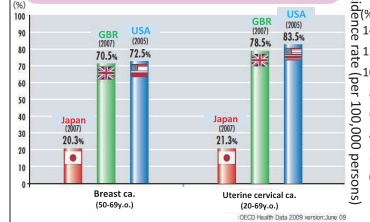
1) Shimane University
 2) The University of Shimane
 3) The Japanese Society of Cytotechnology, Shimane Branch



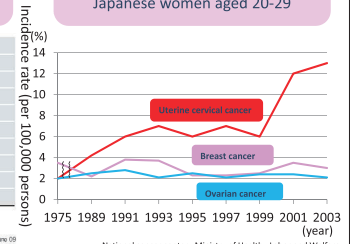
Background

Recently, incidence rates of breast and uterine cervical cancer among young women in Japan are rising. Compared with other countries however, the rate of women who take a screening test is extremely low.

Rates of examinees at screenings for breast and uterine cervical cancer in Japan compared with those in the United Kingdom and the United States



Trends in incidence rates for the respective cancers per 100,000 Japanese women aged 20-29



Inatahime Project

The 'Inatahime Project' is a campaign promoting awareness and prevention of female cancer among the younger generation, launched in Shimane by a group of female college student and supported by professionals (nurse, cytotechnologist, gynecologist and public officer).



The History of 'Inatahime'

- We have visited local communities and conducted breast cancer awareness campaigns aimed at parenting young mothers since 2009.
- In April 2011, we attended a lecture held on 'Uterus Day' and learned that although cases of uterine cervical cancer are increasing among young women, screening rates remain low.
- In August, we undertook a study visit to a cervical cancer awareness campaign conducted by university students in Tokyo and, realizing that this campaign by female college students directed at women of the same generation, led to a deeper understanding of a very intimate issue, strongly felt the urge to launch a similar campaign in Shimane.
- In November, we approached some female college students willing to undertake awareness campaigns within Shimane Prefecture, and made a start with the campaign, giving it the name 'Inatahime Project'.

On Starting the Campaign



- We invited a number of professionals from the community and held study sessions focusing on breast and uterine cervical cancer.
- The goals of the campaign were defined as follows:
 - “Boost the screening rates for breast and cervical cancer among young women”, and
 - “Boost the rate of cervical cancer vaccination”.
- The facts and values we wanted to communicate were jointly held by all members.

The facts we wanted to communicate

- Incidence rates of breast and cervical cancer among young women are rising.
- Early detection at screening allows for treatment with a minimum of physical burden.
- Minimize the reluctance to vaccination and screening among young women by listening to those who have already had the experience.
- Cervical cancer is a curable cancer.



3. 『アジア・オセアニア性科学学会参加』

日時：2012年8月3日(金)、4(土)

Methods

- We developed a plan whereby people without any interest in cancer, and also men could participate.
- Depending upon the target audience, we created cute-looking leaflets and power-point presentations.
- We explained breast and cervical cancer in a simple manner by using illustrations.
- A 'Board Questionnaire' system was used, whereby questions could be answered in a relaxed atmosphere.
- We launched key words, such as 'Lovely Woman' and 'Boost Woman Power', to change the established perception of screening and vaccination.

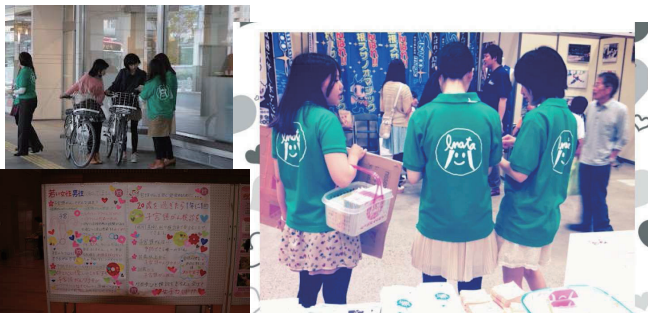


Awareness campaign in a junior high school



'Do you know about uterine cervical cancer?
Do you know it continues to increase among younger people?
Have yourself screened once you are 20!'

Awareness campaign in shopping malls and at health check events



We explained visitors how to prevent cervical cancer and had our questionnaire answered.

Awareness campaign presented as a live event with the rock-band 'Boston Chanoyukai'



Most of the audience attending the live event came to hear the rock-band performance, proving these events are meaningful in attracting younger people with no interest in female-specific cancers.

Lectures

- Since 2011, a series of 12 lectures has been given at local universities and festivals, whereby a total of 1453 individuals answered our questionnaire.
 - Additionally, two lectures were presented as a live event under the title 'No Life, No Music' with the assistance of a rock-band.
- The numbers of audience were 137.



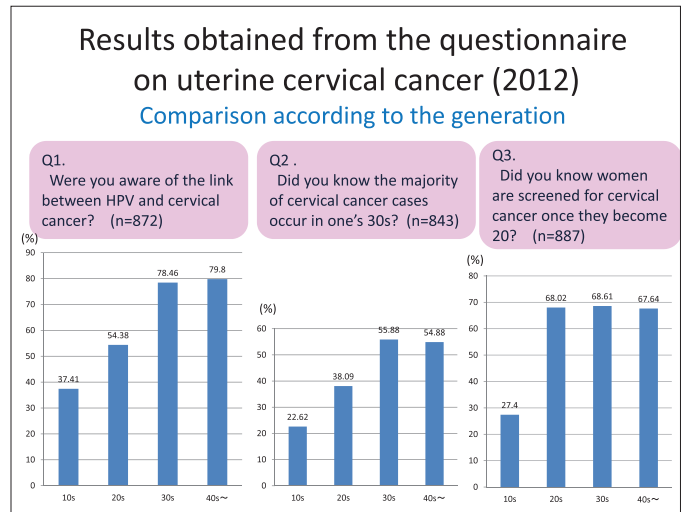
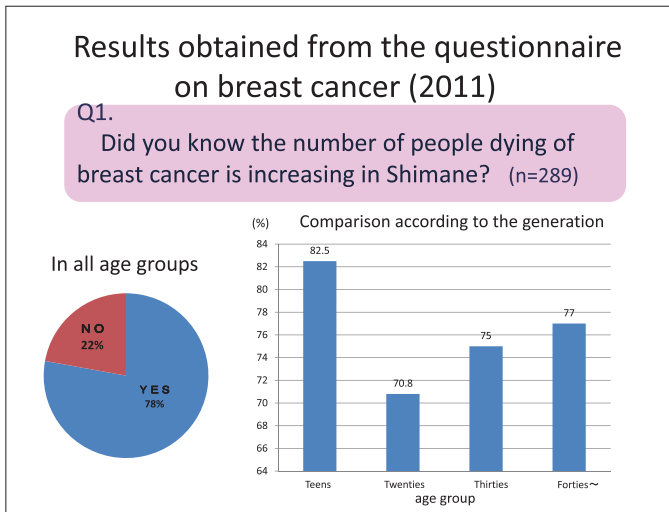
Results

- 77.9% (225/289) knew the number of people dying of breast cancer is increasing.
- 37.4% (52/138) of the teen participants were aware of the link between HPV and cervical cancer.
- 27% (37/135) of the teen participants were aware of the possibility to prevent cervical cancer among women in their 20s by attending screening sessions.



3. 『アジア・オセアニア性科学学会参加』

日時：2012年8月3日(金)、4(土)



Conclusions

We think that educational activities aimed at prevention of female-specific cancers, organized by female college students are meaningful and greatly attract the younger generation.

「島根県子宮頸がん啓発キャンペーン」実行委員会会則

(名 称)

第1条 この会は、「島根県子宮頸がん啓発キャンペーン」実行委員会（以下、「実行委員会」という。）と称する。

(目 的)

第2条 実行委員会は、子宮頸がんに関する知識普及啓発事業（以下、「島根県子宮頸がん啓発キャンペーン事業」）を開催し、罹患率が高い若年層を中心とした子宮頸がんの知識普及拡大及び検診受診者の増加を目的とする。

(事 業)

第3条 実行委員会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 子宮頸がんの知識普及を行う啓発事業に関すること。
- (2) 子宮頸がん検診の受診者数を増加させる活動に関すること。
- (3) 前各号に掲げるもののほか、実行委員会の目的を達成するために必要な事項に関すること。

(構成組織)

第4条 実行委員会は島根県、検診機関、企業、市町村、教育機関、学生、職能団体、医療機関及びマスコミなど、第2条に掲げる目的に賛同する機関とする。

2 構成組織は次のとおりとする。

島根県、公益財団法人島根県環境保健公社、MSD 株式会社、島根県細胞検査士会、国立大学法人島根大学、公立大学法人島根県立大学、学生及び会長が別途指名する機関とする。

(役 員)

第5条 実行委員会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名 国立大学法人島根大学保健管理センター
- (2) 副 会 長 若干名 島根県細胞検査士会
- (4) 監 事 2名 公立大学法人島根県立大学
島根県健康福祉部健康推進課がん対策推進室
- (5) 事務局長 1名 公益財団法人島根県環境保健公社

(役員の仕事)

第6条 役員の仕事は次のとおりとする。

- (1) 会長は、実行委員会を代表し、会務を統括する。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時はその仕事を代行する。
- (3) 監事は実行委員会の会務及び会計を監査する。
- (4) 事務局長は実行委員会の事務及び会計を担当する。

(役員を選出)

第7条 役員は実行委員会の中から、実行委員会において選出する。

2 事務局長は会長が委嘱する。

(任 期)

第8条 役員及び委員の任期は、平成27年3月31日までとする。

(会 議)

第9条 実行委員会の会議（以下「会議」という。）は、会長が召集し会長が議長となる。

2 会議は、次の事項を審議し、決定する。

- (1) 子宮頸がん啓発キャンペーンの準備、実施に関すること。
- (2) 事業計画及び予算に関する事項
- (3) 事業報告及び決算に関する事項
- (4) 役員の選出
- (5) その他子宮頸がん啓発キャンペーン事業の実施に必要な事項

(企画会議)

第10条 実行委員会に、子宮頸がん啓発キャンペーン事業の具体的な企画・運営等を行うため企画会議を置くことができる。

2 企画会議のメンバーは、事業の企画・運営のために必要な作業を行うものとし、実行委員会を構成する機関の役職員とする。

3 企画委員は企画会議の会務を処理する。

(事務局)

第11条 実行委員会の事務を処理するため、事務局を公益財団法人島根県環境保健公社（島根県松江市古志原1丁目4番6号）に置く。

2 事務局に関して必要な事項は会長が別に定める。

(経 費)

第12条 実行委員会の経費は、負担金、寄付金及びその他の収入をもって充てる。

(細則等)

第13条 実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則 この会則は、平成23年6月29日から施行する。

この会則は、平成24年4月17日から施行する。

この会則は、平成25年5月21日から施行する。

この会則は、平成26年4月25日から施行する。

いなたひめメンバー<2011年4月～2015年3月活動 87名>

野津 朱里	渡邊 あやめ	井上 夢香	吉田 麻里
岡本 茉由	秋元 久巳	有間 緑	福島 加菜美
新 美穂	春木 望	藤原 美鈴	昌子 亜矢
河野 陽子	濱元 菜穂	船木 有花	佐武 雅子
植木 実	家城 由美	吉村 彩奈	森安 紗知子
船津 香織	岩佐 真結花	本常 ひとみ	寺本 桂子
益井 みづき	小川 奈美	上野 綾花	田村 優季
森脇 紫央里	森脇 あゆみ	尾田 実咲	井原 奈緒
小笠原 瑞華	三宅 佳奈子	石川 杏子	飯塚 萌子
小野 奈留美	弘中 千晴	船岳 愛	脇 恵里奈
桑原 知里	是枝 梢	濱村 由香	中井 千秋
宮藤 真奈実	水津 美穂	江田 拓朗	田原 由美
西根 千尋	井尻 菜摘	野坂 祐未	石角 弥亜
佐藤 摩奈	今村 美穂	石飛 慶子	丸本 志保
森下 恵	加賀田 有里	児玉 梓	瀬島 春菜
前田 夏輝	大峠 友紀	秋元 永巳	田原 里佳
外山 麻実子	辻本 裕子	徳島 見紀	永井 智子
野村 香菜子	万代 亜美	渡辺 香奈子	宇野 由季
大島 萌々果	大本 果奈	金子 ひなの	加納 彬子
河上 万由加	小中 茉美	下田 英里	中田 穂奈美
八田 紗希	南 菜摘	若葉 志保	吉田 梨花子
河村 真理子	谷口 祐香	山根 彩	

実行委員メンバー<2011年4月～2015年3月活動>

魚谷 幸枝	梶原 直子	小海 志津子	河野 美江
小西 努	長瀬 敏雄	平田 雅子	平野 文子
藤井 麻由美	松本 尚之	牧野 友香	

活動への協力者

小池 由季子	伊藤 奈美	坂根 可奈子
--------	-------	--------

いなたひめプロジェクト 活動報告書

2015年5月 第1刷発行

著者 いなたひめ
発行者 公益財団法人島根県環境保健公社
〒690-0012 島根県松江市古志原1丁目4-6
TEL : 0852-24-0013 FAX : 0852-55-4528
印刷所 西村印刷

島根県子宮頸がん啓発キャンペーン実行委員会は、以下の団体等で構成されています。

- ◎島根県健康福祉部 健康推進課
- ◎公益財団法人島根県環境保健公社
- ◎MSD 株式会社
- ◎島根県細胞検査士会
- ◎国立大学法人島根大学
- ◎公立大学法人島根県立大学

